

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



村落植林活動に新しく参加を希望したノ村 (Nôh) のサワドゴ・ジュドネ氏。
ノ村はフルー村の近くで、苗木の植栽は 11 月を予定しています。

植林は生活を変えると期待しています

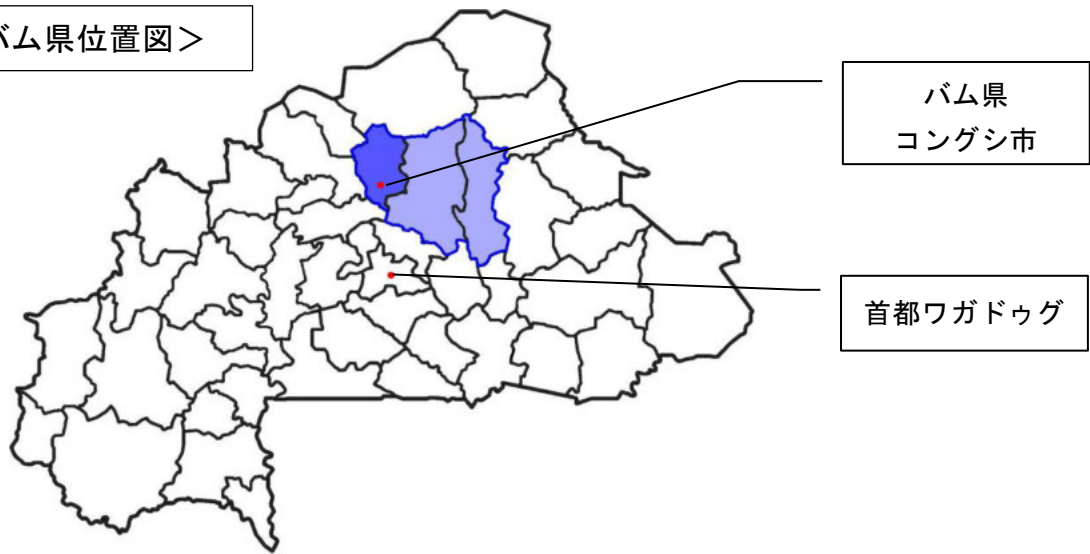
私は、村落植林活動に新しく参加することにした、サワドゴ・ジュドネと申します。私が住んでいるノ村は、「緑のサヘル」と一緒に活動しているフルー村の近くにあります。校庭の緑化活動に取り組んでいるフルー村の小学校を見た時、私はその成果に感銘を受けました。その後、何度も小学校を訪れ、植栽された苗木の管理作業などを見学しました。そして、自分のこれからの生活に向けた取り組みとして、木を植えたいと思うようになりました。

生活林を造成することで、日々の生活が大きく変わると考えています。苗木が成長すれば薪や建築材の入手が容易となり、用材販売によって得られる現金収入は学費や医療費に充てることができるでしょう。私は、植林活動は郡内の全ての住民にとって有用であると考えています。

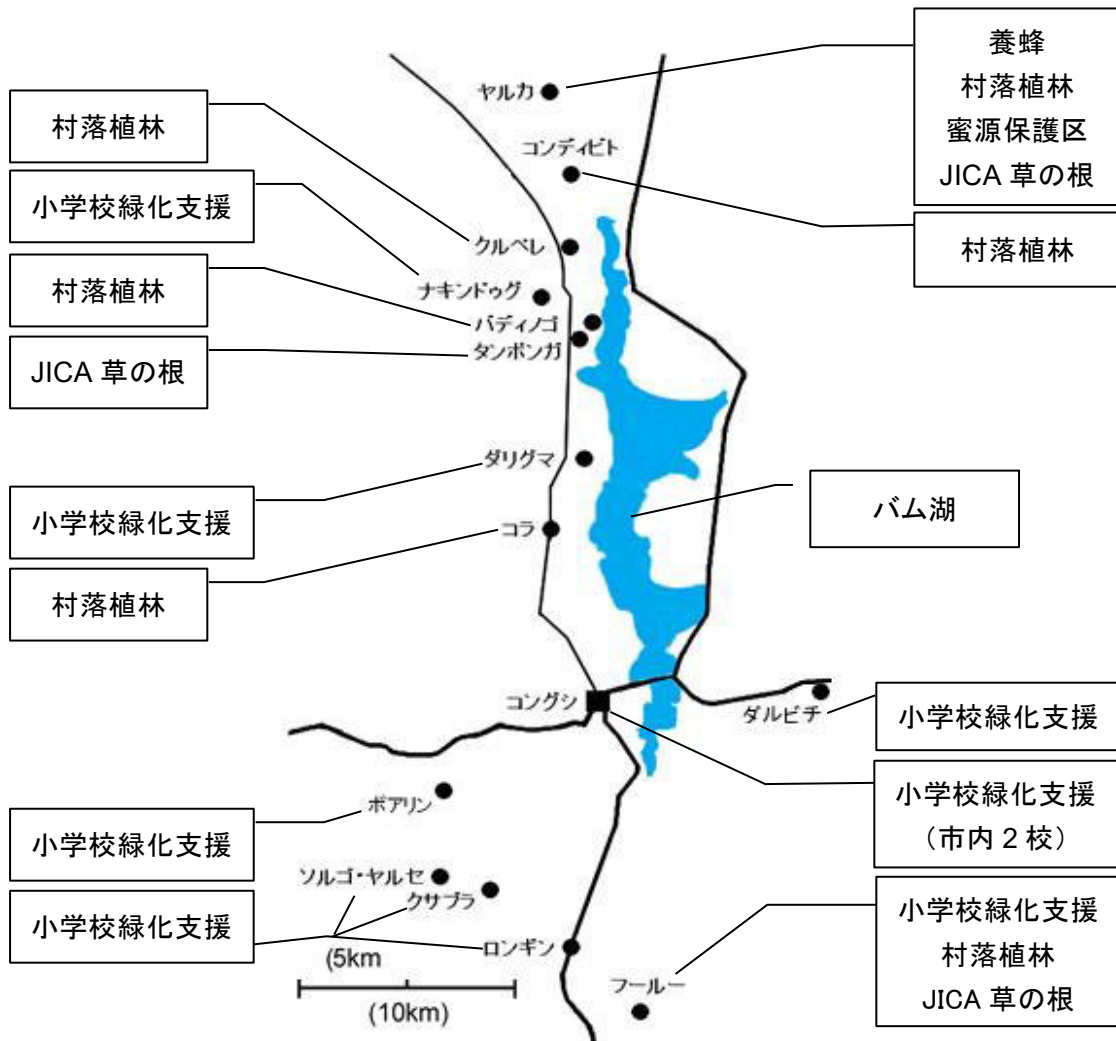
私の希望は、既に植林活動を始めており、それ以外にも様々な活動に取り組んでいるフルー村の住民たちのようになることです。例えばフルー村では、落ち葉を堆肥の材料として用い、作製した堆肥を穀物栽培に用いることで収穫量の増加を図っています。緑のサヘルと良好な協力関係を築き、植林活動に取り組むつもりです。

ノ村参加者 サワドゴ・ジュドネ

<バム県位置図>



<バム県コングシ地域活動実施村位置図>



ブルキナファソから 1



8月13日の夜、首都ワガドゥグで、自動小銃で武装した人物によるレストラン襲撃事件がありました。食事をしていた18名の方々が亡くなりました。襲撃者2名は治安当局によって射殺されましたが、背後関係は明らかになっていません。昨年1月に起きた同様の事件から、落ち着きを取り戻し始めていた矢先だけに残念です。

JICA 草の根技術協力事業

<養蜂>

フールー村で行なっている養蜂活動ですが、5月に蜂蜜が採取されました。今回は、6つの養蜂箱から、ろ過済み蜂蜜21リットル、巣付き蜂蜜43缶が採取されました。

これらの蜂蜜の多くは、コングシやサブセで販売されました。どちらの町にも蜂蜜などの物産を扱っている商店や仲買人がいるので、まとまった量を買取ってくれます。

プロジェクトでは現金収入の向上に取り組んでいますが、販路の開拓・拡大には頭を悩ませてきました。しかし、地元の物産を扱っている流通ルートを活用することができれば、販売先に困ることはありません。

既存の流通ルートの活用は、フールー村のメンバー自らが判断して行なったことです。販路に悩んでいたのは、独り相撲だったようです。



採取された蜂蜜。缶の方には「巣付き蜂蜜」が入れてあります。（フールー村）

<アンドロポゴン植栽>

3村のディグット（石堤）グループ、計45名の栽培地に設置された石堤に沿って、アンドロポゴン（チガヤに近いイネ科多年草）の植栽が行なわれました。

2016年12月から2017年3月にかけて、3村に設置された石堤は、合計135本です。これら1本につき、アンドロポゴンを1列植栽します。同時に、これまでに植栽したアンドロポゴン列のうち、本数が少なくなっている部分への補植も行なわれます。

植栽直後のアンドロポゴンは乾燥に弱く、水不足になると成育が阻害されたり、枯れたりします。地域に自生しているアンドロポゴンは、乾季には地上部が枯れて株だけになっていますが、降雨とともに新しい葉が出てきます。そのため植栽のタイミングは、降雨が本格化する7～8月にかけての時期に限られます。

成長後は石堤の代わりになることを期待していますが、現時点ではそこまで育っていません。今後も植栽と補植を繰り返す、地道な取り組みが続きます。



石堤に沿って植栽され、成長したアンドロポゴン列。（ヤルカ村、2016年）

ブルキナファソから 2



小学校緑化支援プロジェクト

10 校を対象に行なっている小学校緑化支援活動ですが、実施内容と対象校の見直しを行ないました。

これまで植栽した苗木の保護には、木の枝を編んだ柵を使ってきました。しかし 1 本ずつ用意しなければならないため必要数が多く、調達に困難が生じるようになりました。また、苗木が成長して柵の高さを超えてしまうと、家畜に食害されてしまうという難点がありました。5 月に行なった評価ミッションでも、問題点として指摘されました。これを踏まえ、金網で植栽場所を囲うことにしました。金網は耐久性があるため、繰り返し使用できます。

また、コングシ市内のカトリック小学校を対象校から外し、ダルビチ小学校を加えることにしました。カトリック小学校では意欲の低下が顕著であり、評価ミッションでも同様の指摘がありました。残念ではありますが、各校による取り組みを支援するという本旨に照らすと、適切な判断だと考えます。



6 月に開催された成績発表会での記念撮影。

チャドから



降雨は順調ですが、食糧事情に不安があります

雨季に入り、降雨が順調なおかげで、農作業がはかどっています。種まきや除草作業が終了し、ひと段落しているところです。

しかし中央部では、イモムシが発生しています。現状では生息密度が低いため、被害というほどの事態には至っていませんが、作物保護局からは「要警戒」との指示が出されています。

食糧事情については、チャド湖周辺と中央および東部の 3 州で状況が悪化しています。これらの地域では、居住人口が増加していたり、家庭の備蓄量が不十分だったりしています。国内の穀物市場には十分な量が供給されていますが、販売価格は上昇しています。食糧問題では、生産性を向上させるだけでなく、家計収入を上げて購買力をつけていくことも大切な視点です。



週 1 回の定期市場で売られている穀物。
(1998 年)

国内活動



今期は講演や事務所訪問の依頼が多く、合わせて 530 人を越える方々にお話しさせていただきました。多くの皆さんと接することが出来、とても励まされた 3 か月でした。

< 東京事務局での主な活動一覧 >

5 月	16 日(火)	多賀城市立 多賀城中学校 事務所訪問 (3 年生 4 名)	担当 (菅川)
6 月	9 日(金)	「日蓮宗あんのん基金」報告会	出席 (菅川)
	15 日(木)	神戸大学 国際人間科学部 講義 (1 年生 約 300 名)	講義 (菅川)
		JICA 関西 国際協力連続セミナー 講演 (一般 30 名)	講演 (菅川)
	22 日(木)	茅ヶ崎市 アレセイア湘南高校 事務所訪問 (2 年生 6 名)	担当 (菅川)
	29 日(木)	「2018 年オリジナルカレンダー」作製開始	
7 月	5 日(水)	富山県立 桜井高校 講演 (2 年生 195 名)	講演 (菅川)
	20 日(木)	国際ソロプチミスト大阪ー中央 ご寄付授与	出席 (菅川)
	30 日(日)	ハヶ岳中央農業実践大学校 訪問・ご挨拶	訪問 (本所)

JICA 関西 セミナー講演

6 月 15 日(木)、JICA (国際協力機構) 関西が主催する一般向けの国際協力連続セミナーにて、当団体事務局長の菅川が「西アフリカにおける砂漠化の現状と回復に向けた取り組み」と題した講演を行ないました。

参加された方は皆、国際協力やアフリカに対して関心が高く、講演の終了後には現地の状況や活動に関してだけでなく、国際協力に携わる方法についての質問や、ご自身の進路についての相談もありました。



国際ソロプチミストの皆様よりご寄付

7 月 20 日(木)、「国際ソロプチミスト大阪ー中央」と「国際ソロプチミスト若狭」の皆様よりご寄付をいただきました。

「国際ソロプチミスト」は、国際親善と理解活動および友情を通じて、女性の地位向上、高い倫理基準、万人の人権、平等・開発・平和を求めて努力をすることを目的に設立された、女性による世界的な奉仕団体です。

当日は菅川が、ご紹介者である「アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会」の皆さんと共に「国際ソロプチミスト大阪ー中央」の例会に出席し、ご挨拶とお礼、活動の紹介をさせていただきました。皆様、貴重なご寄付と暖かいお励ましの言葉、本当にありがとうございました。ご厚意が現地の方々に届くよう、一生懸命に頑張ります。





2018年カレンダー販売開始!!

皆さま、お待たせいたしました! 「緑のサヘル 2018 年 オリジナル・カレンダー」の販売開始です!! 今回も、世界各国で人々の暮らしを撮り続ける写真家・小松義夫氏と、旅行人・編集長の蔵前仁一氏にご協力いただき、素敵なカレンダーが出来ました。



各月の写真には、西アフリカの風景や歴史、そして生活が描かれており、人々の表情からは喜怒哀楽が伝わってきます。どうぞアフリカを身近に感じて下さい!

カレンダー1冊で苗木10本を植えることができます。ぜひカレンダーの購入で国際協力を! 同封のカレンダーチラシまたはメールにてお申込み下さい。

(緑のサヘル東京事務局)

agsj_tokyo@sahelgreen.org

サイズ: A4 変形 (広げた時 A3 変形) 印刷: オールカラー28ページ
価格: 1部 1,200円 (税込み)、送料 200円 (全国一律・何部でも)

ソーシャル・ポスター展 開催

去る5月24日(水)より30日(火)まで、日比谷公園内にある「日比谷文化図書館」の特別展示室において、「ソーシャル・ポスター展」が開催されました。

これは「(特活)日本NPOセンター」と「(株)電通」による協働企画で、電通グループ社員が公募によって選ばれた支援団体取材し、団体の新たな魅力を引き出したポスターを作成、各団体の広報に役立ててもらおうというものです。



(左)代表・岡本、(右)事務局長・菅川のバージョン。

「緑のサヘル」も審査を経て参加団体となり、「活動に携わるスタッフこそが最大の魅力」とのコンセプトの下、3枚のポスターを作成していただきました。今後の広報に利用して行きたいと考えています。

尚、開催期間中は69団体、220枚のポスターが展示され、その発想やデザインの斬新さは圧巻でした。日本の支援団体の多様さに、改めて驚かされたイベントでした。

ありがとうございました

* 敬称は略させて頂きました。

【 継続会員のみなさま 】

安田喜代美／綱島孝／石川祐一／石本雄大／永井邦子／塩沢拓夫／常瀬憲五
須藤さい／亘友子／佐藤京子／森内和子／町千恵子／佐藤怜子／菊地博子
國岡裕子／高橋聖子

【 ご寄付を頂きました 】

賀川麻衣／中尾進一・康子／浪川光代／木嶋清江／榎本みつ枝／青山初穂
西村豊子／小池昌子／村上和代／武知ハルミ／山本淑子／森田康子／氏岡治代
佐藤京子／勝間朋子／佐藤裕美／太田弘子／高橋菜々子／米多喜久夫／葛原睦子
及川豊／高橋量平／田中ちえ子／内村佳土／個別教育フォレスト 安多秀司
アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を応援する会
国際ソロプチミスト大阪-中央／国際ソロプチミスト若狭

他 匿名をご希望の方 3名

【 BOOK募金を通じてご寄付を頂きました 】

倉沢昌子／武藤彰子／瀬戸義子／石毛弘

他 匿名をご希望の方 2名

【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

木嶋清江／アレセイア湘南高等学校事務所訪問生／亘友子

上記は 2017 年 5 月 1 日から 7 月 31 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、8 月 1 日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／(独)国際協力機構(JICA)
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(公財)イオン環境財団(環境活動助成)
緑の募金(管理団体:(公社)国土緑化推進機構)／(公財)国際緑化推進センター
isave(シーブ(株))／アフリカ料理 トライブス／gooddo(株)
ジャパングビング／(財)農村更生協会 ハケ岳中央農業実践大学校
(特活)国際協力 NGO センター／(特活)環境アリーナ研究機構／(株)グリムス
URBAN GREEN MAKERS (株)アールオーエヌ／(株)プレジャーワークス
ソーシャルアクションリング／マチウケル(株)廻船問屋
(財)環境メディアフォーラム／かざして募金 ソフトバンク／日蓮宗あんのん基金

「緑のサヘル」からお知らせ

三鷹市国際交流フェスティバルに出展!!

9月24日(日) 10:00~15:30

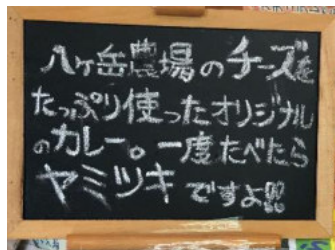
三鷹市 井の頭恩賜公園西園文化交流広場、野球場周辺

初めての参加です。ぜひお越しください!

ハケ岳中央農業実践大学校 へ行ってきました



収穫物・加工品の直売所



カレーの宣伝

実習生が育てた野菜や搾りたての牛乳が抜群でした!
チーズ、カレー、アイスクリーム等ご注文お待ちしております。

【 もくじ 】

- | | |
|----------------|---------|
| 1・表紙 | 5・国内活動 |
| 2・ブルキナファソ活動地域図 | 6・事務局より |
| 3・ブルキナファソから 1 | 7・ありがとう |
| 4・ブルキナファソから 2 | 8・お知らせ |
| チャドから | |

< スタッフよりひと言 >

● 湿度が高く雨の日が多いですね。ブルキナファソでも今年の雨季は雨がよく降っています。住民たちは安心していていると思います。(岡本)

● 東北で生まれ育ったせいか、子供の頃から暑さが大の苦手でした。その後、何とかアフリカで暑さを克服しましたが、湿気は未だにダメです…。(菅川)

● 我が家のバオバブは、今年の高温多湿にもめげず、クーラーの室外機の風にあおられながら元気です。新芽が2つ出てきてびっくり、確か4年前に播いた種。バオバブの強さと日本の気候を想うこの頃です。(本所)

● 現地では小腹が空くと、果物だけでなく、生のニンジン・サツマイモ・ナスも丸かじり。サプリが無くても、自然の恵みで元気をチャージ♪ただいま雨季限定シアバターの実が甘くて食べ頃です…。(大谷)

ご贈答品・ご挨拶に
どうぞ

♪ メニューがリニューアルしました ♪

ハケ岳農場の特産品

「ハケ岳中央農業実践大学校」の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々。おなじみのチーズ・アイスクリーム・カレーに、卵・乳製品が加わりました。送料を含めた価格は下記の表のとおりです。

大学校のご厚意により、お求めごとに
定価の20% が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振込みください。

00120-7-419488「緑のサヘル」

お振り込みからお届けまで10日程かかります。

		関東 信越 北陸 中部 南東北	関西 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	4,644	4,752	4,860	4,968	5,076	5,616
B	3種アイス 10個	4,968	5,076	5,184	5,292	5,400	5,940
C	アイス6個	3,564	3,672	3,780	3,888	3,996	4,536
D	チーズ3種	4,536	4,644	4,752	4,860	4,968	5,184
E	カレー2箱/ チーズ5種	6,048	6,156	6,264	6,372	6,480	7,020
F	ヨーグルト/ 牛乳	2,916	3,024	3,132	3,240	3,348	3,888
G	カレー6箱	4,320	4,320	4,536	4,644	4,752	5,292
H	青卵12個 / ジャム2種	3,996	4,104	4,212	4,320	4,428	4,968
I	赤卵30個	1,728	1,836	1,944	2,052	2,160	2,700
J	アイス20個	7,668	7,776	7,884	7,986	8,100	8,964

※カレーは、甘口か中辛のどちらかをお選びいただけます。

内容の詳細をご希望の方は、事務局まで
ご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie!

Vol.71

編集 岡本敏樹 菅川拓也 本所稚佳江 大谷恵美 /印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 (特活) 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町16番地 NASビル3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041